東日

メヒカリ唐揚げ1279匹でギネス認定

揚げた魚で作った最大の言葉部門　海・みなと・蒲郡実行委が達成

蒲郡市の「海・みなと・蒲郡実行委員会」は28日、「揚げた魚で作った最大の言葉」（Largest fried fish Word）部門でギネス世界記録に認定された。（多田羅有美）＝⑪面に関連

市内海陽町のラグーナテンボスであったマーケットイベントに合わせて、記録樹立に挑戦した。事前に申し込んだ市民ら31人が参加。メヒカリの唐揚げ計1279匹を並べていき、1時間半ほどで完成させた。横4㍍、縦1・2㍍の机の上には「がまごおりメヒカリ」の文字が浮かび上がった。

同部門は、実行委の発案で今回新設され、ギネスワールドレコーズ（英国）の日本法人が認定した。ギネス世界記録公式認定員の桐村和由さんによると、文字を作るカテゴリーでは、千葉県で自動車550台以上を並べた記録があるという。ただ、食品を扱う場合は衛生状態の管理や無駄にしないーなどの条件がある。「それだけ食べ物を使った挑戦は難易度が高いと言えます」と話した。この日はチャレンジのスペースをテントで覆い、文字が完成した後の唐揚げは来場者らにふるまわれた。

実行委事務局の市企画政策課の小田将也さんは「蒲郡で世界記録を作ることができた。海の魅力を伝えるイベントをさらに充実させて、市をPRしていきたい」と意気込んだ。

認定証を受け取った実行委事務局の小田さん㊧（蒲郡市・ラグーナテンボスで）

メヒカリの唐揚げを並べて描き出された文字（同）

中日

蒲郡・メヒカリ唐揚げで文字　1279匹使用、ギネス認定

唐揚げにした蒲郡市特産の深海魚メヒカリを千匹以上並べ、大きな文字をつくる催し「メヒカリギネスチャレンジ」が二十八日、同市のフェスティバルマーケットであり、親子らがギネス世界記録を打ち立てた。

さまざまな分野の世界一を認定するギネスの新部門「魚の唐揚げでつくった最大の文字」への挑戦で、地元の水産加工会社「山本水産」が唐揚げを用意した。

事前に申し込んだ三十一人は、「がまごおりメヒカリ」と記したシート（長さ四㍍、幅一・二㍍）の上に、トングを使って体長約十㌢のメヒカリを一匹ずつ並べ、文字をつくった。ギネス日本法人の認定員が唐揚げを数え、千二百七十九匹を使った世界記録として認定した。

西浦小学校二年の三浦結斗君（八）は母容子さんと参加し、「隙間なく並べるのが難しかったけど、楽しかった。メヒカリの唐揚げはおいしいので好き」と目を輝かせた。唐揚げは参加者が持ち帰って味わった。

催しは特産魚への関心を持ってもらおうと、市やラグーナテンボスなどでつくる海・みなと・蒲郡実行委が開いた。

（西山輝一）

トングを使って唐揚げを並べ、「メヒカリ」の文字をつくる親子＝蒲郡市海陽町で

東日

作家と交流　お気に入り探し

海辺のハンドメイドマーケット盛況

蒲郡

蒲郡市海陽町のラグーナテンボス・フェスティバルマーケットで27、28両日、ハンドメイド作家による約100店舗が出店する「海辺のハンドメイドマーケット」が開かれた。日本財団が支援する「海と日本プロジェクト2021」の一環で、海・みなと・蒲郡実行委員会（小田泰久実行委員長）が主催した。

（多田羅有美）

↑ハンドメイド作家のテントを巡る来場者ら（蒲郡市・フェスティバルマーケットで）

雑貨やアクセサリーなどのテントが軒を連ねた。来場者は各テントを巡り、作家との会話を楽しみながら作品を手に取っていた。

市が出展した「おやこでヨットをつくろう！」では、紙や竹ひごなどでヨットを作るワークショップがあった。7月に市役所でインターン勤務した名古屋学芸大メディア造形学部4年の水野祐利さんが企画。1日に50人ほどが訪れたという。

水野さんは「子どもたちにもヨットや海を身近に感じてもらえれば」と期待を込めた。

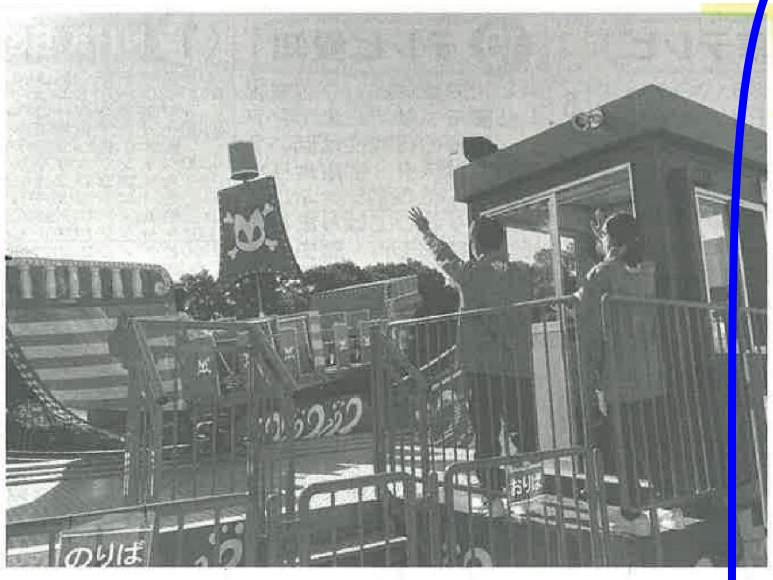
紙でヨット作りを体験する親子（同）

東愛知

ラグナシアで職場体験

中学生を受け入れ　「従業員と客」両方の視点で

蒲郡



職場体験する中学生（提供）

蒲郡市海陽町のラグーナテンボスは、テーマパーク「ラグナシア」で職場体験の中学生を一括で受け入れている。

新型コロナウイルス感染症の影響で、さまざまな企業での職場体験が難しくなっている。ラグーナテンボスは昨年度、岡崎市の中学校で出前授業をした際、学校側から生徒が安心して仕事について学べる機会を与えたいと相談があった。そこで、子どもたちにラグナシアの仕事に興味や関心持ってもらいつつ、教員の負担軽減を考え、生徒を一括で受け入れることにした。

午前と午後のグループに分かれ、ラグナシアの制服を着てアトラクション運営や飲食店などの仕事体験組と、来場者として園内を楽しむ組を体験し、双方の視点からラグナシアの仕事について学ぶ。10月にスタートし、小牧、岡崎の両市の中学生が体験した。

ラグーナテンボスの担当者は「テーマパークの仕事について知る機会は珍しいと思う。ぜひ、体験してみてください」と話した。

職場体験は繁忙期を除く。問い合わせはラグーナテンボス営業部（0533・58・2762）へ。

【林大二朗】

東日

タガログ語会話教室

来月23日まで蒲郡　受講者を募集

蒲郡市は来年1月8日から、市民会館で「タガログ語会話教室」を開く。12月23日まで受講者を募っている。

フィリピンでは英語とともにタガログ語が公用語として使われている。市内には1日時点で、3178人の外国人市民が暮らしており、そのうちフィリピン国籍の人口は半数近くを占める。

教室は全4回。来年1月8日から毎週土曜に全4回開催する。いずれも午前10時から1時間。講師は市内在住のフィリピン人、柴田アルファさん。

対象は市内在住または在勤の中学生以上で、参加費は2000円。国際交流協会個人会員または団体会員の企業に勤めている人は1000円。定員は申し込み順に20人。

問い合わせは、蒲郡国際交流協会事務局（市協働まちづくり課）＝電話0533（66）1179＝まで。